

# Vol.6 秋の大学入試を終えて

こんにちは、広報部長です。

ご無沙汰をしているうちに、あっという間に2学期も過ぎ去り、気が付けばもう年末です。

さて、2学期にはさまざまな行事があったのですが、高校3年生は、**総合型選抜**や**学校推薦型選抜**による大学入試を迎えました。

今回は、そんな秋の受験シーズンを終えての様子をお伝えします。

年度によって、総合型選抜や学校推薦型選抜の利用者の割合は異なるのですが、今年度は専門学校などへの進学を含め、今の時点で**約半数の進路先が決定しています**。

ちなみに、今年度の指定校推薦を利用した生徒は、おおよそで**4人に1人くらい**、公募制の推薦入試では**理系学部での躍進が目立ったのが**特徴でしょうか。

9月頃から、真剣に**自己推薦文**について担任とやりとりする受験生の姿をよく見かけるようになりました。

また、進路担当や科目担当の先生との**面接練習**も複数回行われ、本番に向けてサポートしています。

高校3年生の担任は、**合格の報告を誰よりも喜んで**います。

生徒が難関大学へ合格するのはもちろん嬉しいのですが、**自分の進路について悩んでいた生徒が、合格を決めたときの喜びは格別です**。

「いい顔つきになりましたね」、なんていう会話が職員室で聞かれ、職員みんなで喜びをわかちあっています。

さあ、一般入試に向かう受験生との**冬期講習**にも力が入っています。全員が愛徳学園を卒業し、進路先が決まるまで、**全職員で、しっかりサポートしていきますよ!**

以上、広報部長からでした。